

# 外国にルーツを持つ子どもの学習支援対策講座

9月11日（土）イーグレひめじにおいて、ボランティアステップアップ学習会「外国にルーツを持つ子どもの学習支援対策講座」を開催しました。この講座は、夏休みに実施した学習支援教室「日本語ひろばキッズ+」の活動をふりかえり、今後の学習支援ボランティア活動に生かしていただくためのものです。



キッズ+のボランティアや活動に興味のある方、地域の日本語教室で日本語を教えている方など、18名が参加しました。緊急事態宣言中ということで、対面とオンラインのハイブリッドでの開催となりました。

講師は、3月に実施した学習会に引き続き、兵庫県国際交流協会登録日本語教師の辻村文子先生にお越しいただきました。初めに担当者から日本語ひろばキッズ+の活動報告を行いました。参加学習者数や学習内容、ボランティアからの感想や意見、今後の課題などを紹介しました。



講座ではまず、日本語教室の2つの役割（①日本語学習ができる場所・②居場所）を確認した後、支援者の役割とは何かを考えました。「自分の強みを生かして支援すること」「スモールステップを積み重ねること」などのポイントを教わりました。



グループワークでは、子どもが対象であるからこそその心構えや、年齢別の教え方のコツなどを話し合いました。絵本や漫画、スマホを使う、ゲームでやる気を引き出すなどのアイデアが、参加者から次々と飛び出しました。また、同じ悩みを持つ支援者同士が交流し解決策を共有することで、とても有意義な時間となったようです。

まとめでは、辻村先生から力強い激励のメッセージをいただきました。次の日本語ひろばキッズ+の活動は、冬休みです。より充実した活動になるよう、みなさんのご協力をよろしくお願いします。

